

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	舞台実習Ⅳ
開設学科	声優・演劇科	コース名	俳優・タレントコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	70時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	演劇戯曲の台本を中心に使用、必要に応じて配布。ミュージカル戯曲の場合は楽譜を必要に応じて配布。				
担当教員情報					
担当教員	竹本敏彰・室生春		実務経験の有無・職種	有・俳優 演出家	
学習目的					
この科目を受講する学生は、舞台実習Ⅲを踏まえ、引き続き舞台公演を行う目的で俳優表現の多様性を学ぶ。演劇舞台空間で与えられた登場人物を表現することで、生き生きと自然に生き抜く喜びを体感できるようになる。同時に集団で芸術作品を創りあげる喜びと難しさを実感し、コミュニケーションする力、協調性の重要性を理解することがねらいである。この科目を受講する学生は「舞台空間を生き抜く俳優」になるための術をあらゆる方向から体感し、学ぶことができる。発声・滑舌力を含む基礎演技、歌唱力の鍛錬を重ねながら、学生ひとりひとりが自己の資質、欠点を理解し、さらなる向上心を持って演技表現を探究することがねらいである。					
到達目標					
この科目では学生が舞台空間で生き抜くことの難しさを実感し、実践することで俳優業を理解することが目標である。役者として活動を続けるために必要な努力を模索し、更に、発声力、歌唱力、身体表現力をより発展させ、よりクオリティの高いものを目指しながら、今後の進路、役者としての仕事を深く考察できる力を養うことも目標に加える。この科目は舞台実習Ⅲに引き続いて俳優の鍛錬を継続して行い、舞台実習Ⅱの授業の補足的、もしくは専攻的な役割を担う授業であるため、学生はより具体的に、より実践的に、より本格的に、より現実的に「俳優」を自覚することを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では俳優論を理解し、俳優術を具体的に体感していく。舞台実習Ⅱと並行し授業に自信を持って参加できるように、演技の基礎、作品、人物の理解を丁寧に紐解き実践していく。そして、発声力、歌唱力、滑舌力も並行して鍛錬していき最終的に「卒業制作」へと繋げていく足掛かりとなる。				
注意点	この授業では学生の心身が健全、健康であることを何より優先する。学生とのコミュニケーションを重視し、明るく、清しい授業空間を創ることが肝要である。また、快活で積極的な授業参加を求めるため理由のない遅刻や欠席は認めない。態度が改善されない場合、配役の変更や降板も辞さないこととする。授業時数の4分の3を出席しないものは定期試験を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・レポート	20%	作品理解、人物理解を確認するために実施、総合的に評価する		
	平常点	80%	授業への積極的な参加、日常の地道な努力等を総合的に評価する		
授業計画（1回～10回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	成果発表用台本の基礎稽古（1）	歌唱に関して理解を深める			
2回	成果発表用台本の基礎稽古（2）	歌唱を通じて音楽への理解を深める			
3回	成果発表用台本の基礎稽古（3）	歌唱とステージングを結び付ける			
4回	成果発表用台本の基礎稽古（4）	歌唱、音楽を意識し、ステージングを考える			
5回	成果発表用台本の基礎稽古（5）	ミザンスの考察をし、より良い演技表現を見出す			
6回	成果発表用台本の応用稽古（1）	それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
7回	成果発表用台本の応用稽古（2）	それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
8回	成果発表用台本の応用稽古（3）	それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
9回	成果発表用台本の応用稽古（4）	それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
10回	成果発表用台本の応用稽古（5）	それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げ、卒業制作と繋げる			